

一般社団法人日本セカンドライフ協会  
令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

## 令和3年度事業報告

令和3年度は、下記の活動目標を設けて事業運営して参りました。

### 1. 新型コロナ禍への対応

新型コロナ禍における緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置が繰り返し発出されましたが、イベント、サークルは、参加者の安全対策を徹底し、可能な限り開催しました。しかし、参加者の出足は鈍く、イベントの実施件数、参加者数とも昨年を上回ったものの、コロナ発生前の対令和元年度比では、イベント件数 65%、参加者数41%、イベント粗利41%、サークル粗利32%となりました。

一方、対面方式のイベント・サークルの開催が難しい中、昨年度から開催しておりますオンラインイベントの開催を進めてきました。期待したほどの参加者を集めることはできませんでしたが、エリアを越えて参加するなどオンラインの効果が見受けられました。オンラインイベント・サークル開催体制整備の一環として、YouTube の利用も可能となりました。

活動縮小に伴う収入減を補うため各種助成金の受給、運営委員、世話役、参加者からの寄付金を募り、754万円を得、昨年度実施した東京、大阪の事務所移転効果が年間で寄与したこともあり、当期は 603万円の黒字となりました。

### 2. 活動エリアと運営仲間の輪の拡大

従来の活動エリア(東北・関東・中部・関西)に加え、北陸でのライブイベントの試験実施を行いました。

その他、北海道、中国、四国、九州エリアへの展開も模索しておりましたが、コロナの影響により来期以降に持ち越しと致しました。特に、北海道、九州への展開は、来年度の実現を目指します。

### 3. 会員の拡大

当期は、(株)ファミリーネットジャパンに入会いただきました。

### 4. JASS 大学の開設

JASS 創設 30 周年を記念して、「もっと知りたい」「愉快地遊ぶ」「外に出る」の精神を基本とした、従来からの事業運営の枠組みを踏襲して、「人生 100 年時代」における社会的ニーズに呼応し、シニアの生きがいづくりとともに、社会貢献活動に資することを目的に活動内容の拡大を目指すこととし、「JASS 大学」の開設を決定しました。

JASS 大学開設準備委員会、同検討委員会を設け内容の検討等を行いました。

当期は新型コロナ禍での非常に厳しい事業運営となりましたが、イベント・サークル活動は対前年度比では持ち直しました。助成金、寄付金は減少しましたが、事務所家賃の費用圧縮等で補い黒字決算となりました。

## 1. 組織運営

### (1) 登録企業会員の状況

令和3年度開始時点で、会員数53会員でスタートしました。

期中の増減は退会1、新規加入1で、期末は53会員となっております。

退会: サッポロビール

加入: ファミリーネット・ジャパン

### (2) 企画者の状況

当協会のイベント、サークルは、企業会員出身の運営委員、世話役の方々を中心に行われております。令和3年度末における各人数は次の通りです。( )内は前期末との比較。当期は運営委員が5名減少しました。新たな仲間を増やす事が来期以降の課題となります。

#### a. 運営委員

関東地区運営委員会 38名 (3名減)

中部地区運営委員会 6名 (増減無)

関西地区運営委員会 26名 (2名減)

東北地区世話役 1名 (増減無)

合計71名 (5名減)

#### b. 世話役

関東地区世話役 19名 (2名減)

中部地区世話役 4名 (増減無)

関西地区世話役 18名 (2名増)

合計41名 (増減無)

## 2. 事業活動

### (1) イベント・サークル事業

イベント事業におけるイベント催行数は、前期比67%増の1,283件(514件増)となり、イベント参加者数は、前期比57%増の10,019人(3,653人増)となりました。

サークル事業に関しては、前期比5%減の参加者832人(43人減)となりました。

以上の結果、イベント事業とサークル事業を合わせた延べ参加人数は、10,851人となり前期比50%増、人数にして3,610人の増加となりました。

新型コロナ禍前、令和元年度との比較は上記記載の通りです。

### (2) 機関誌事業

年4回発行の機関誌「JASSネット」の発行部数は、33,750部でした。

### (3) JASS 大学の開設

4年度秋号からの開設を目標に準備委員会を設け、基本方針を策定し、理事会の承認を得ました。さらに検討委員会を3月に設置し、具体的な検討を開始しました。

## 3. その他活動

### (1) 広告収入の増加

シニア向け分譲マンションを販売している企業から継続的にJASSネット本紙広告、バナー広告を受注することができ、前期比で44万円増となりました。

### (2) ホームページの閲覧数が増加

JASSホームページからのイベント申込みは引続き3割を超える状況となっております。また、毎週イベント・サークルの活動報告を更新しており、令和3年度は活動報告が104件(前期比35%)、月平均9件の投稿がありました。前期より197件減りましたが、これは緊急事態宣言や新型コロナの影響等によるイベント、サークル中止に起因するものです。

また、ホームページのアクセス数は年間 165,004 件(前期比108%/月平均 13,750 件)となり、イベント・サークルを自粛したにも拘わらず過去最高のアクセス数となりました。これは、ホームページをご覧いただく会員が一定数定着した事と、メールマガジンでの告知や追加イベントの掲載が奏功し、アクセス数増加に繋がったものと推察します。コロナ禍におけるコミュニケーションツールとして、今後も有効に活用していく所存です。

### (3) 寄付を募りました

各方面からの寄付を募り、運営委員、世話役、参加者、シニア活動の番組制作に協力したライブ配信運営企業等から寄付金96万円をいただきました。ご寄付頂いた方々のお名前は JASS ネット誌に掲載しました。

### (4) オンラインイベントの開始

昨年度の冬号よりオンラインイベントを開始しました。イベント件数は209件でしたが、参加者が少なく中止になるものや、催行しても定員を大きく割り込む結果となるイベントもありました。一方、他事務局エリアからの参加者が増えつつあり、参加者増効果も伺えます。今後も参加できる会員の裾野を増やし、新型コロナ禍における催行可能なイベントとして引き続き来期も注力して参ります。

### (5) メールマガジンの配信開始

メールマガジン「JASS 瓦版」の配信を開始しました。従来配信していた中部瓦版以外に本部・関東瓦版と関西瓦版を月2回のペースで配信しています。

(6) ホームページでの追加イベント掲載を開始

JASS ネット誌に掲載されているイベント以外にホームページで追加イベントの掲載を開始しました。

(7) イベント・サークル企画書の変更と JASS ネット製作作業の内製化

イベント、サークル内容の一元管理を目的に、企画書フォーマットの変更と入力方式の変更を検討しました。変更に伴い JASS ネット製作作業の一部を内製化します。

本変更は4年度秋号から採用します。これにより既に要請されている印刷費等の大幅値上げを一部回避できます。

#### 4. 理事会、総会の開催状況

令和3年度は、通常理事会を2回、臨時理事会を2回、通常総会を1回、臨時総会を1回開催しました。

令和3年5月31日に令和3年度第1回通常理事会を、令和3年6月17日に通常総会を開催し、令和2年度事業報告、令和2年度収支決算報告、令和3年度事業計画、令和3年度予算、役員選任を審議し、いずれも承認されました。

第1回通常理事会では、代表理事及び業務執行理事として理事長および専務理事から令和2年12月から令和3年5月までの職務執行状況の報告があり、特に問題なく了承されました。

令和3年12月16日には令和3年度第2回通常理事会を開催し、代表理事及び業務執行理事として理事長および専務理事から令和3年6月から12月までの職務執行状況の報告があり特に問題なく了承されました。

また、令和3年4月28日に JASS 大学開設に関する臨時理事会を開催し、JASS 大学開設の基本方針が承認されました。

有賀隆二氏から専務理事を、辻孝代氏から理事をそれぞれ辞任したい旨の申し出があり、令和3年12月6日に臨時理事会を開催し、辞任の申し出を了承し、坪野谷雅之氏を理事長に、水越征雄氏を専務理事、事務局長に、藤村治雄氏を理事候補者に選任しました。

本理事会を受け令和3年12月23日に臨時総会を開催し、提案通り承認されました。

以上